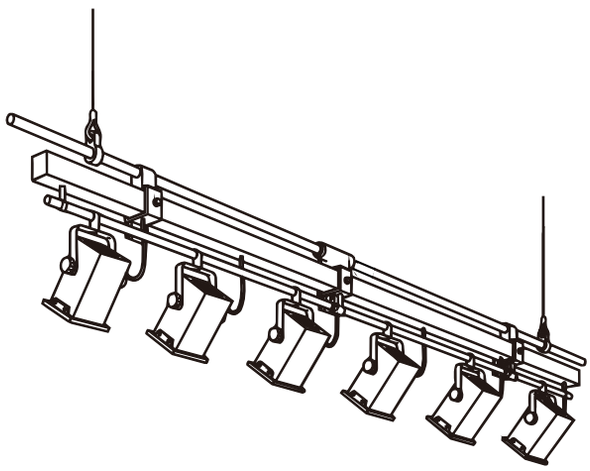
BLM 電動照明バトン

取扱説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品（吊りバトン）は、壁面などに設置した操作スイッチにより、簡単に操作することができます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本機の取り付けは、専門の施工業者へご依頼ください。



※画像はイメージです。

● 施工業者につきましては、販売店または当社へお問い合わせください。

BLM-UK

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・ 2～3
お取扱上のご注意・・・・・・・・・・ 3
付属品の確認・・・・・・・・・・・・ 4
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
使用方法・・・・・・・・・・・・・・ 5
ファイナルリミット検知・・・・・・・ 6
維持管理・保守点検・・・・・・・・・ 7
電動中型バトン 日常点検表 ・・・・ 8
電動中型バトン 定期保守点検表 ・・ 9
MEMO・・・・・・・・・・・・ 10～11

製品保証内容については【こちら】をご確認ください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
■ ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠ 警告



異常発生時は運転を中止する

異常な音や臭いがするなど、動作に異常がある場合は、直ちに STOP ボタンを押して使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や故障の原因となります。
使用を中止した後は、販売店または当社へご相談ください。



バトンにぶら下がったり、引っ張ったりしない

本体またはバトンの破損の原因となり、死亡または重傷を負うおそれがあり危険です。



分解・修理・改造をしない

火災や感電の原因となります。修理は販売店または当社へご相談ください。



動作中は吊りバトンに近づかない

バトンパイプや吊りワイヤー周辺は、思わぬけがにつながるおそれがあり危険です。
近づかないでください。



吊りバトンには最大吊荷重を超えるものを吊らない

均等荷重で最大吊荷重以下で使用してください。
破損や落下の原因となります。

⚠ 注意

吊りバトンを昇降させる際は、周囲を十分確認する

周囲を確認せずに吊りバトンを昇降させると、人や物に接触するおそれがあります。
また、障害物があると、吊りバトンの破損の原因となります。

昇降時はバトンパイプが水平であることを確認する

バトンパイプに均等に荷重がかかるよう、吊り位置を調整してください。
傾いた状態で昇降させると、破損や脱落の原因となります。

使用時は運用責任者または管理者の指示に従う

使用方法や安全遵守事項を十分に理解せずに使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

吊りバトンとしての用途以外に使用しない

破損の原因となります。

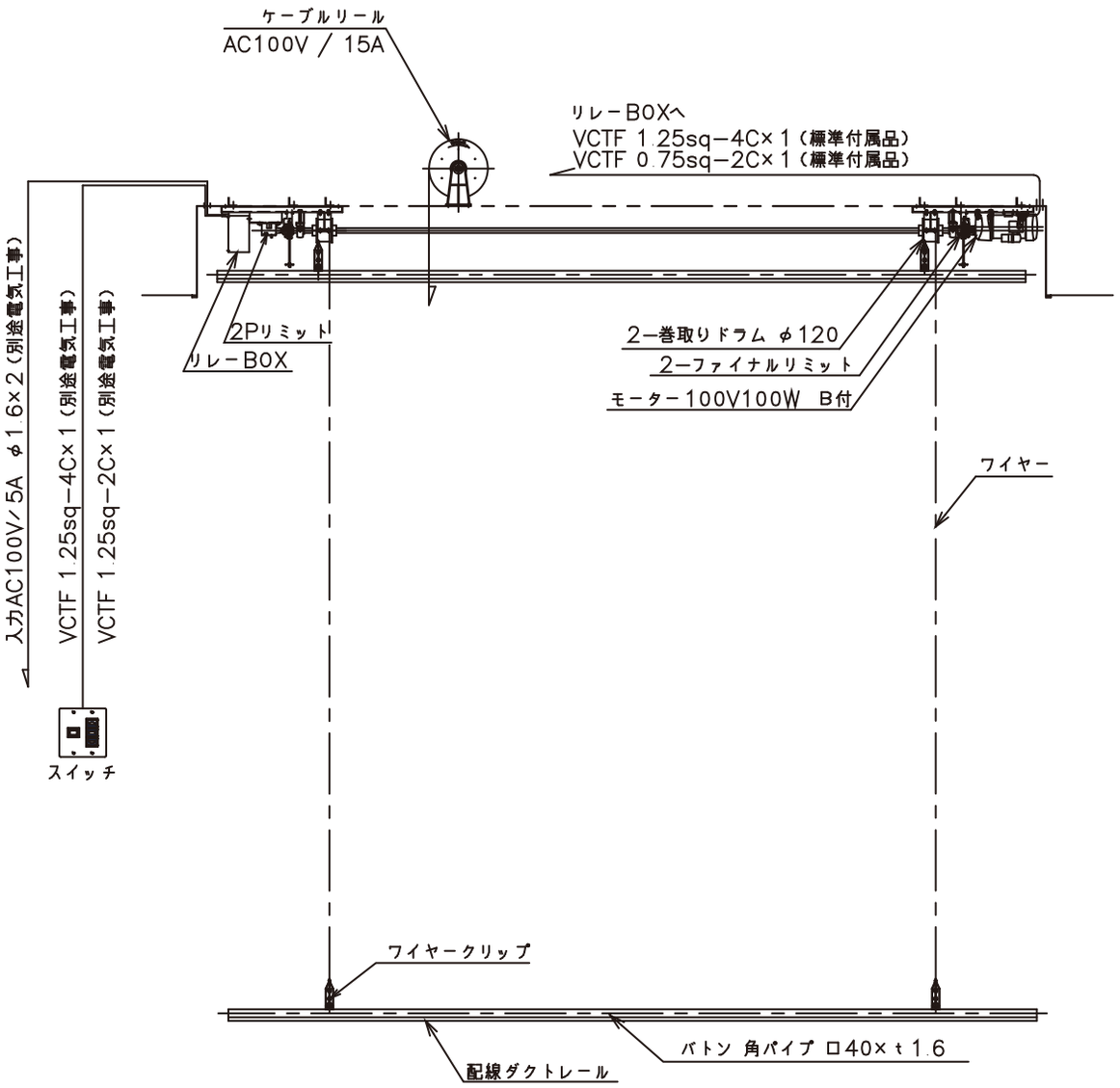
■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

お取扱上の注意

本製品は、以下の点に注意して丁寧に取り扱ってください。

- 吊りバトンの操作は、担当者を定めて行ってください。
- バトンパイプは、手で移動させたり揺らしたりしないでください。
- 昇降動作範囲内に障害物がないことを必ず確認してください。
- 吊り荷重は、均等荷重で最大吊荷重を超えない範囲で使用してください。
- 吊り物は、両端のワイヤー間の範囲内に取り付けてください。

仕　様

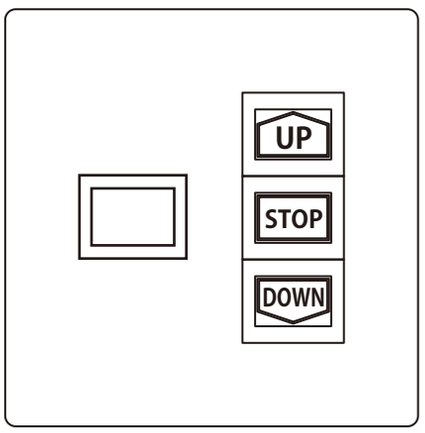


型式	モーター 電源電圧 / 出力	ドラム径 (mm)	昇降速度 (mm/sec)	バトンパイプ 径	長さ	吊点数	ストローク	ワイヤー径	最大 吊荷重 N (kgf)
BLM-UK	単相 100V/100W	φ115	88(50Hz) 105(60Hz)	□ 40.0×t1.6	4000	2	5000	φ3	490 (50)

使用方法

電動バトンは、壁面または操作卓に設置された操作スイッチで操作します。

- 操作前に、吊り物が確実に固定されていること、および吊り物の下に人がいないことを確認してください。
- 操作スイッチはワンタッチで動作します。押し続ける必要はありません。



吊りバトンを上昇（収納）させる場合

埋込スイッチの「UP」ボタンを押してください。
バトンパイプは収納位置まで上昇し、自動で停止します。

吊りバトンを途中で停止させる場合

埋込スイッチの「STOP」ボタンを押してください。
その位置で停止します。

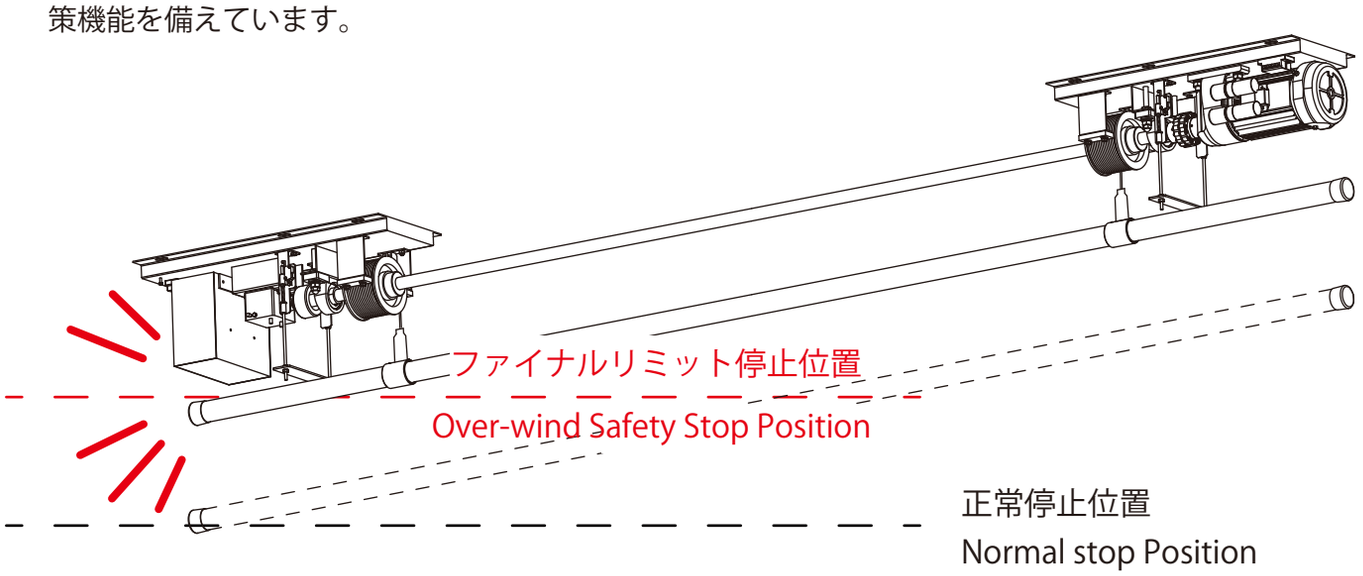
吊りバトンを下降させる場合

埋込スイッチの「DOWN」ボタンを押してください。
バトンパイプは所定の位置まで下降し、自動で停止します。

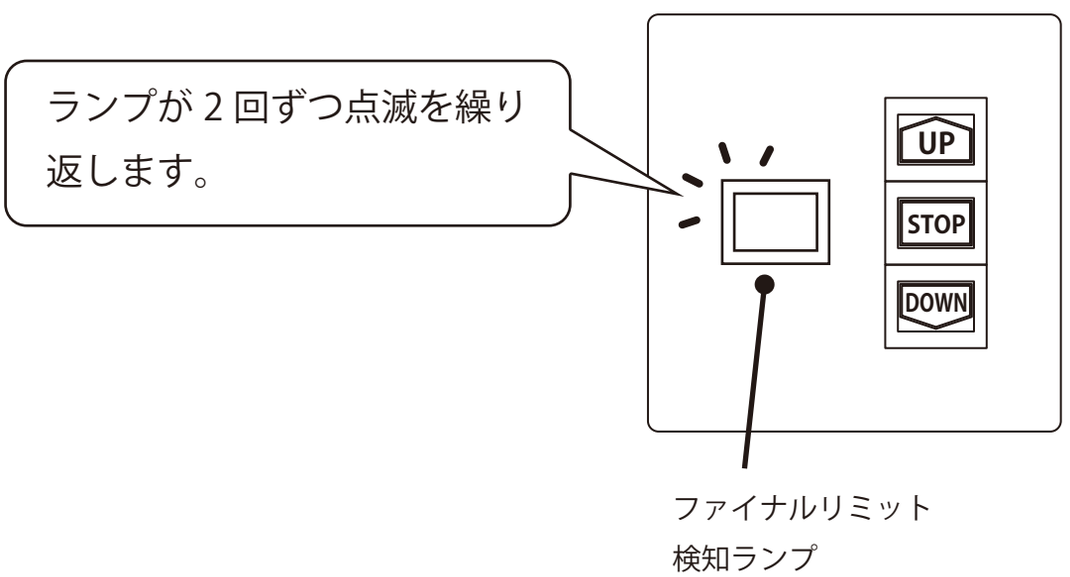
動作中に逆方向へ操作する場合は、「止」ボタンを押して一度停止させてから行ってください。

ファイナルリミット検知

本製品は、バトンが設定位置で停止しなかった場合でも、ファイナルリミット位置で停止する安全対策機能を備えています。



バトンがリミット設定位置を超えて上昇すると、ファイナルリミット停止位置で停止し、検知ランプが点滅します。



設定位置で停止しなかった場合は、リミットスイッチ部の故障が疑われます。
バトンの操作を中止し、販売店またはテクニカルサポートセンターへご連絡ください。

維持管理・保守点検

本製品を安全にご使用いただくため、定期的な点検および保守を行ってください。
吊り設備の安全確保に関する指針では、所有者および管理者による定期的な点検の実施と記録の保管が推奨されています。
また、非常時には臨時点検を行うことが重要とされています。
本設備を長期間にわたり安全かつ安定して使用するためには、適切な維持管理および定期的な点検が必要です。
保守・点検については、本書末尾に記載のテクニカルサポートセンターまでご相談ください。

- 定期点検により劣化の状況を把握し、故障発生前に部品を交換することで、特性の変化やトラブルを未然に防止できます。
- 日常点検に加え、年 1 回の定期点検（メンテナンス）の実施を推奨します。

⚠ メンテナンスを行わない場合、ワイヤーの断線や上下限停止位置のずれが発生し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
安全確保のため、定期的な点検・保守を必ず実施してください。

【 日常点検方法および判定基準 】

使用当日および地震後は、以下の点検を行ってください。

点検箇所	点検内容	点検状態	方法	備考
パトンパイプ	キズ・曲がりの有無上・下限停止位置の異常の有無	巻出し状態 運転状態	目視	地震後は必ず点検
ワイヤー	折れ・素線切れの有無巻取り異常の有無	巻出し状態 運転状態	目視	
巻取ドラム	異常な回転・振動・騒音の有無	運転状態	目視・音	
モーター	異常な回転・振動・騒音の有無 取付状態の緩みの有無	巻出し状態 取付状態	目視・音	地震後は必ず点検
リミットスイッチ	変形・損傷の有無正常に作動するか	取付状態 動作状態	目視 触手	

⚠ 点検の結果、異常または異常が疑われる場合は、直ちに使用を中止してください。
周囲に近づかないようにし、速やかに販売店・取扱店または施工業者へ連絡し、点検を依頼してください。

電動中型バトン 日常点検表

使用前点検

施設名		点検日	年　　月　　日
設置場所		点検者	

点検箇所	点検項目	点検内容・判断基準	判定	備考
外観	バトンパイプ	曲がりや変形がないか。両端のキャップが確実に付いているか。	□ 良　□ 否	
	安全表示	荷重注記ラベルが剥がれていないか。ハッキリ読み取れるか。	□ 良　□ 否	
ワイヤー	損傷の有無	目立つほつれ（素線切れ）や折れ、錆、異常な摩耗がないか。	□ 良　□ 否	
	巻き状態	ワイヤーに極端なたるみがなく、ドラムにきれいに巻かれているか。	□ 良　□ 否	
動作	昇降動作	昇降時に「キィー」「ガタガタ」などの異音や、不自然な振動がないか。	□ 良　□ 否	
	スイッチ反応	スイッチの押下・復帰が円滑であり、確実に作動・停止するか。	□ 良　□ 否	
	停止位置	上限・下限の設定位置で正確に自動停止するか。	□ 良　□ 否	
	検知ランプ	ファイナルリミット検知ランプが点滅（または点灯）していないか。	□ 良　□ 否	

※ランプ点滅（または点灯）時は異常停止（リミット故障）です。直ちに使用を中止してください。

【 点検結果・処置内容】
異常がある場合は速やかに管理責任者へ報告してください。

管理者（印）	点検者（印）

⚠ 地震発生時のご注意
地震（揺れ）を感じた後は、外観に異常がなくても必ず点検を行ってください。
特に「取付部の緩み」や「自動停止位置のズレ」が生じやすいため、入念に確認してください。

※異常時は直ちに使用を中止し、電源を切ってください。

※ 定期点検の記録用として、本ページを印刷してご活用ください。

電動小型バトン 定期保守点検表

点検推奨周期：6 ヶ月

施設名		点検日	年　　月　　日
設置場所		点検者	

点検箇所	点検項目	点検内容・判断基準	判定	備考
外観・固定	本体の取付状態	取付ボルト・ナットに緩みやガタつきがないか。	□ 良　□ 否	
	各部パーツの破損	本体カバーの変形や、パイプ端キャップの欠落がないか。	□ 良　□ 否	
	ワイヤーの点検	素線切れ、キンク（折れ）、形崩れ、著しい錆がないか。	□ 良　□ 否	
	安全表示	耐荷重注記ラベルが剥がれず、視認できるか。	□ 良　□ 否	
動作・機能	昇降動作（異音）	作動中に異常な打撃音、摩擦音、振動がないか。	□ 良　□ 否	
	スイッチ操作	UP・DOWN・STOP の各ボタンが確実に反応し、戻りも正常か。	□ 良　□ 否	
	自動停止位置	上限・下限の設定位置で正確に自動停止するか。	□ 良　□ 否	
	異常検知ランプ	ファイナルリミット検知ランプが点滅していないか。	□ 良　□ 否	
	バトンの水平度	停止時にパイプが水平に保たれているか（ワイヤーの伸び・乱巻）。	□ 良　□ 否	

【総合判定】 □ 合格（異常なし）　□ 要整備　□ 使用中止

特記事項・処置内容（修理箇所、部品交換履歴など）

管理者（印）	点検者（印）

⚠ メンテナンス上の重要事項

- ワイヤーへの注油は、種類により滑りや吸塵の原因となるため、指定以外は行わないでください。
- 異常（異音・停止位置ズレ、ランプ点灯等）を確認した場合は、事故防止のため直ちに使用を中止し、電源を切ってください。

準拠：懸垂物安全指針（平成元年5月 建設省通達）

※ 定期点検の記録用として、本ページを印刷してご活用ください。

MEMO

MEMO

製品保証内容は以下の URL より WEB サイトにて
ご確認いただけます。

https://www.os-prod.com/products/warranty/

製造販売元 株式会社オーエスエム
連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53
TEL：0120-465-040　FAX：0120-380-496
（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50 ※土日祝祭日を除く）
E-mail : info@os-worldwide.com